

協同農業普及事業に関する意見を聴く会 資料 新技術・新資機材の普及について



株式会社クボタ
アグリソリューション推進部

For Earth, For Life
Kubota

クボタ 会社概要

- 創業 1890年2月
- 資本金 840億円*
- 本社 大阪市浪速区
- 代表者 代表取締役社長
木股 昌俊

- 従業員 33,845人*
- 売上高 15,086億円*
- 海外売上比率 約58%*
- 営業利益 2,024億円*
- 営業利益率 13.4%*

※連結・14年3月期



クボタ 主要事業領域

For Earth, For Life
Kubota

豊かで安定的な食料の生産



コンバイン



トラクタ

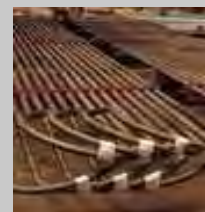


田植機

社会基盤整備による快適な生活環境の創造



建設機械



鋳鋼製品



空調機器



エンジン

水インフラの整備による安心な水の供給と再生



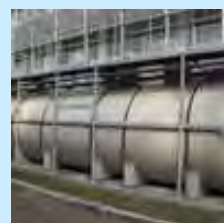
鉄管



水処理装置



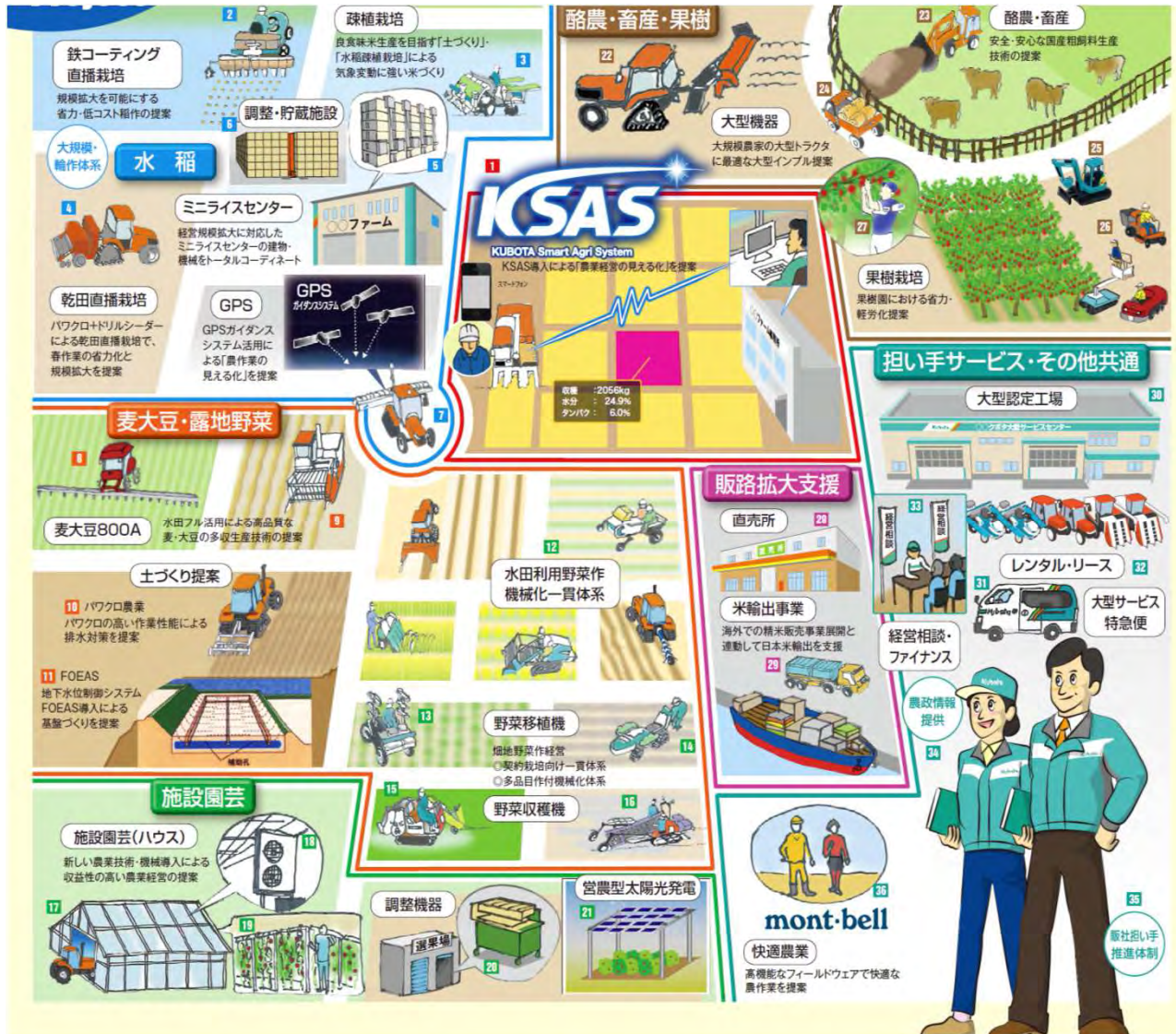
バルブ



浄化槽



ソリューション提案活動



鉄コーティング 直播栽培
 規模拡大を可能にする省力・低コスト稲作の提案

疎植栽培
 食味米生産を目指す「土づくり」・「水稲疎植栽培」による気象変動に強い米づくり

調整・貯蔵施設

大型機器
 大規模農家の大型トラクタに最適な大型インプル提案

酪農・畜産
 安全・安心な国産粗飼料生産技術の提案

果樹栽培
 果樹園における省力・軽労化提案

大型認定工場

担い手サービス・その他共通

直売所

米輸出事業
 海外での精米販売事業展開と連動して日本米輸出を支援

経営相談・ファイナンス

農政情報提供

mont-bell
 快適農業
 高機能なフィールドウェアで快適な農作業を提案

販社担い手推進体制

GPS
 GPSガイダンスシステム活用による「農作業の見える化」を提案

ミニライスセンター
 経営規模拡大に対応したミニライスセンターの建物・機械をトータルコーディネート

乾田直播栽培
 パワックロドリルシーダーによる乾田直播栽培で、春作業の省力化と規模拡大を提案

麦大豆・露地野菜

麦大豆800A
 水田フル活用による高品質な麦・大豆の多収生産技術の提案

土づくり提案

水田利用野菜作機械化一貫体系

野菜移植機
 畑地野菜作経営
 ◎契約栽培向け一貫体系
 ◎多品目作付機械化体系

野菜収穫機

施設園芸

施設園芸(ハウス)
 新しい農業技術・機械導入による収益性の高い農業経営の提案

調整機器

運葉場

宮農型太陽光発電

GPS
 GPSガイダンスシステム活用による「農作業の見える化」を提案

KUBOTA Smart Agri System
 KUBOTA Smart Agri System
 KASAS導入による「農業経営の見える化」を提案

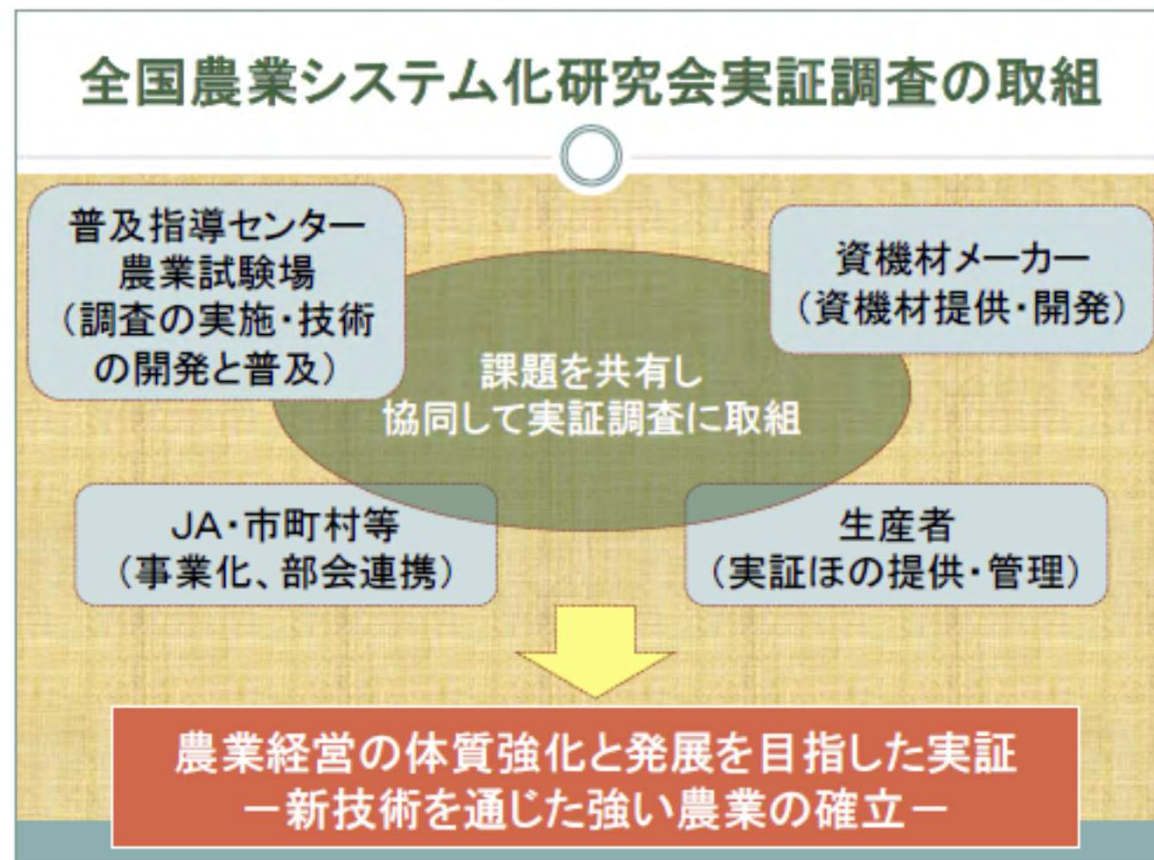
収穫 : 2056kg
 水分 : 24.9%
 タンパク : 6.0%

協同農業普及事業との関わりについて

全国農業システム化研究会

昭和44年3月、全国農業改良普及支援協会が稲作作業の機械化開発とその普及を目的に「田植機械化研究会」を発足。

その後、時代の変化と普及関係機関の要請により、昭和46年には稲作作業全般に領域を拡げ「稲作システム化研究会」に名称を改め、更に昭和49年に「全国農業システム化研究会」へと発展し、生産技術に関する研究活動から、農業経営生活分野をも含めた幅広い分野での調査・研究を実施。



協同農業普及事業との関わりについて

<全国農業システム化研究会 平成26年度の実証課題>

- ・ 飼料用稲の省力・軽労・低コスト・多収穫生産技術に関する実証調査
- ・ 水稻（主食用）の省力・軽労・低コスト・高品質生産技術に関する実証調査
- ・ 大豆等の省力・軽労・低コスト・安定生産技術に関する実証調査
- ・ 野菜の省力・軽労・低コスト・安定生産技術に関する実証調査
- ・ ICT技術を活用した水稻の効率的生産システムの構築に関する実証調査
- ・ 半装軌式トラクタ（パワクロトラクタ）の作業性効果に関する実証調査

新技術・新資機材の普及について

●鉄コーティング直播取り組みの経緯

近畿中国四国農業研究センター 山内先生が開発した鉄コーティング直播について、新潟県のお客様から問い合わせがあり、試験的に取り組みを開始。実証結果から省力化・低コスト化に貢献できる技術と判断し、普及拡大に力を入れてきた。

●鉄コーティング直播普及状況（弊社把握ベース）

H24年：5500ヘクタール

H25年：8000ヘクタール

H26年：10500ヘクタール



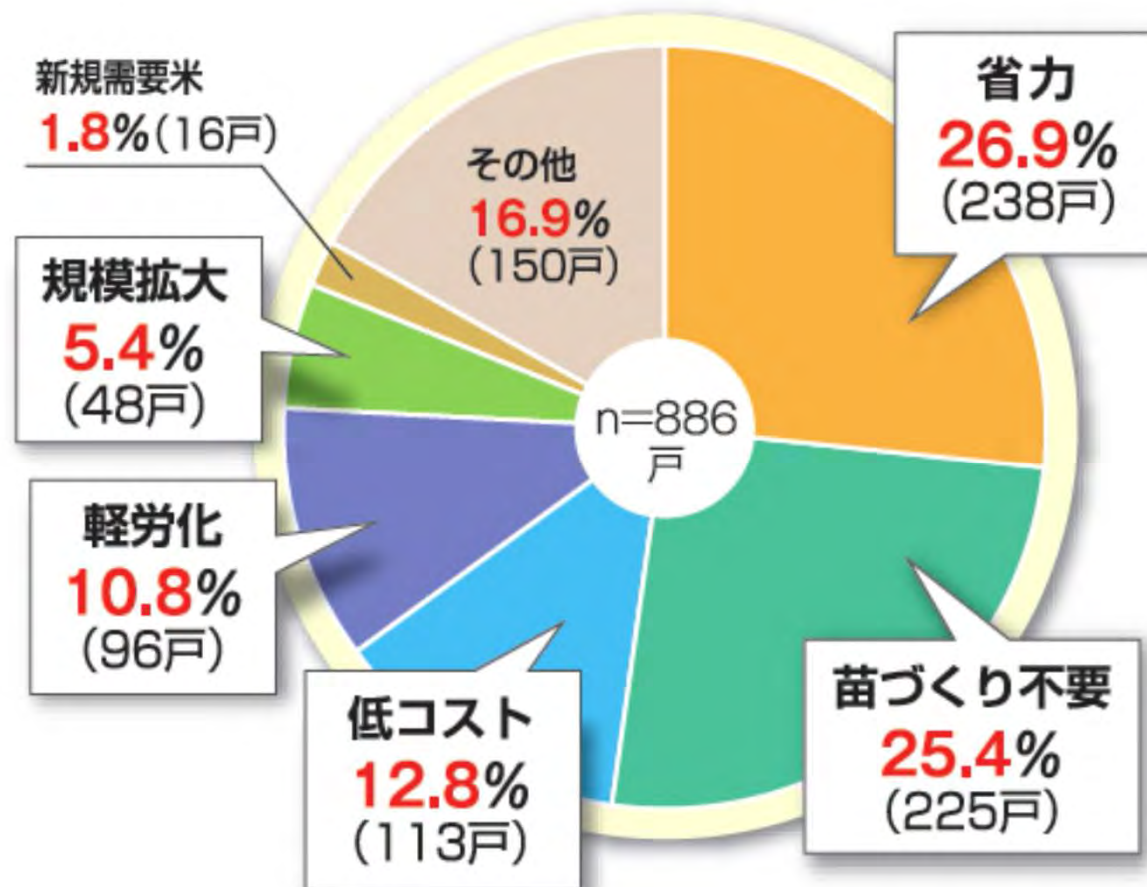
▲多目的田植機+直播機「鉄まきちゃん」(8条)



等間隔・等量の 高精度点播

新技術・新資機材の普及について

●鉄コーティング直播実施農家の導入理由(東北・弊社調べ)



新技術・新資機材の普及について

<鉄コーティング直播の普及の取り組みを通して感じること>

●普及スピードの壁

- ・普及面積は毎年順調に増加しているが、社員のマンパワーに依存する面が大きく、普及を加速させることの壁に突き当たっている。
- ・各県毎に試験データが揃って初めて栽培指針導入の俎上にのる状況で、各県毎に地道に普及に取り組んでいる。
- ・資機材メーカー（含弊社）は普及度合いを見極めながら開発を進めておりなかなか資機材のラインナップが拡大しない。

●普及を進める上での資機材の課題

- ・播種同時施用薬剤及び散布機器の開発
 - 除草剤（播種同時のラインナップ、コスト）
 - 殺虫殺菌剤（播種同時施用剤の開発、播種同時散布機器の開発）
 - スクミリンゴガイ駆除剤（ラインナップ、薬効期間、コスト）
- ・コーティング剤の供給機器（施設）

新技術・新資機材の普及について

＜新技術・新機材の普及についての希望＞

- 農林水産省主導の新技術・新資機材の普及の仕掛け・仕組みづくり
農林水産省主導で農研機構、都道府県試験場・普及センター、JAグループ
民間企業と新技術・新資機材の「普及」を見据えた仕掛け・仕組みを作る。
- 期待する効果
 - ・関係者で試験、実証のデータを共有することで、普及のスピードアップにつながる。
 - ・新技術普及の方向性、役割が明確になることで
新資機材の開発の加速 ⇒ 新技術の普及 ⇒ 更なる新資機材の開発
という好循環につながる。